



♪
ハンプティ・ダンプティ塀(へい)に
座った
ハンプティ・ダンプティころがりおちた
王様のお馬をみんな集めても
王様のけらいをみんな集めても
ハンプティを元には戻せない ♪
♪

このハンプティ・ダンプティは、私の好きな唄のひとつ。
英語圏内では、誰でも知っているマザーグースの一つです。
ハンプティがとってもかわいいので、人形にもなっています。
この唄にはそんなに重要な意味は実際ありません。

でも ハンプティ(たまご)が、割れて、もう元に戻らないのを見ると、大人目から見ると 私は、ことわざの「覆水盆に返らず」(ふくすいぼんにかえらず)を思い出します。

覆水盆に返らずの「覆水」とは、こぼれた水のこと、「盆」は水などを入れる平たい鉢のことです。

一度こぼれた水は二度と元の盆に戻らないことから、別れた夫婦は復縁(ふくえん)しないことや、取り返しがつかないことのとえとして使われるようになりました。英語にも「覆水盆に返らず」に似た、「It is no use crying over spilt milk.」という諺があります。

覆水盆に返らずの出典は、中国の『拾遺記』(しゅういき)の次のような話によります

周の国に『呂尚(りょしょう)』と『馬氏(ばし)』という夫婦がいた。呂尚は読書ばかりして働かなかつたため、妻の馬氏は愛想をつかして実家に帰ってしまった。やがて、呂尚は王に見出され、大出世して『太公望』(たいこうぼう)と呼ばれるようになる。妻は復縁を求めてきた。

呂尚は盆の水を地面にこぼし、「この水を元に戻せたならば、復縁に応じよう」と言いました。しかし、馬氏が手ですくえたのは泥ばかりで、水はすくえませんでした。そこで、呂尚は「お前は一度別れたのに復縁を求めてきたが、こぼした水は盆に戻せない」と言って断ったという話です。

*ハンプティ折図

覆水盆に返らずの意味は語源由来辞典参照